



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月13日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8041 URL http://www.oug.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	242,121	2.2	1,931	—	1,963	—	1,717	—
25年3月期第3四半期	236,825	△4.4	123	△91.8	105	△93.8	△127	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,875百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △209百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.43	—
25年3月期第3四半期	△2.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	93,750	16,863	18.0	308.62
25年3月期	68,980	15,314	22.2	280.32

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,863百万円 25年3月期 15,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,000	2.3	1,400	—	1,400	—	1,200	—	21.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	55,622,921株	25年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	980,235株	25年3月期	988,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	54,633,889株	25年3月期3Q	54,641,066株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済財政政策を背景として、輸出関連企業を中心に企業の生産活動や収益の改善は徐々に雇用・所得環境、国内需要の改善につながり、緩やかに回復しつつありました。このような経済状況の中、個人消費は堅調に推移しておりますが、日常消費に対する節約志向は依然強く続いております。

水産物流通業界におきましては、海外水産物は円安及び一部魚種の不漁並びに国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、国内水産物は異常気象の影響により漁獲が変動するなどの外部環境の厳しさが続きました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,421億21百万円（前年同四半期比102.2%）となりました。損益面では、売上総利益は177億50百万円（前年同四半期比109.3%）となり、営業利益19億31百万円（前年同四半期の営業利益1億23百万円）、経常利益19億63百万円（前年同四半期の経常利益1億5百万円）、四半期純利益17億17百万円（前年同四半期は四半期純損失1億27百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高1,498億66百万円（前年同四半期比100.7%）、売上総利益率の改善と間接経費全般の節減によりセグメント利益10億63百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量は減少したもののエビ商材等の相場高騰による販売単価の上昇により売上高909億65百万円（前年同四半期比104.4%）、販売競争の激化や仕入価格の上昇などにより売上総利益率は低下しましたが、売上高の増加、間接経費全般の節減によりセグメント利益6億6百万円（前年同四半期比309.5%）となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、養殖ブリの相場が前年度の低相場から上昇傾向にあり売上高49億1百万円（前年同四半期比113.0%）、餌料価格高騰の影響を受け生産価格は上昇しましたが、売上高の増加、間接経費全般の節減に努めセグメント利益1億93百万円（前年同四半期はセグメント損失1億81百万円）となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、定塩鮭冷凍製品の安定的な生産拡大を基礎に販売拡大を図り売上高37億60百万円（前年同四半期比111.7%）となりましたが、原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失62百万円（前年同四半期はセグメント損失92百万円）となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高16億24百万円（前年同四半期比97.8%）となり、配送コストの増加等からセグメント損失22百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高35億74百万円（前年同四半期比107.6%）、セグメント利益66百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて247億69百万円増加し、937億50百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加163億60百万円、たな卸資産の増加75億88百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて232億20百万円増加し768億86百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加128億23百万円、借入金の増加105億49百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて15億48百万円増加し168億63百万円（自己資本比率18.0%）となりました。主な要因は、四半期純利益の計上17億17百万円、配当金の支払3億27百万円などによる利益剰余金の増加13億94百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億64百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,794	2,756
受取手形及び売掛金	27,710	44,071
商品及び製品	16,785	24,343
仕掛品	1	1
原材料及び貯蔵品	119	150
その他	1,216	877
貸倒引当金	△392	△379
流動資産合計	47,234	71,820
固定資産		
有形固定資産	11,807	11,616
無形固定資産	3,408	3,407
投資その他の資産		
投資有価証券	5,639	5,827
その他	2,533	2,631
貸倒引当金	△1,642	△1,553
投資その他の資産合計	6,530	6,905
固定資産合計	21,746	21,929
資産合計	68,980	93,750
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,098	32,921
短期借入金	15,200	25,635
1年内返済予定の長期借入金	5,240	1,817
未払法人税等	179	107
賞与引当金	643	324
その他	3,562	4,300
流動負債合計	44,924	65,107
固定負債		
長期借入金	2,838	6,375
退職給付引当金	2,475	2,409
役員退職慰労引当金	89	95
その他	3,338	2,899
固定負債合計	8,741	11,779
負債合計	53,665	76,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,090
利益剰余金	2,424	3,819
自己株式	△244	△180
株主資本合計	14,828	16,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	805	970
繰延ヘッジ損益	12	6
土地再評価差額金	△332	△337
その他の包括利益累計額合計	486	638
少数株主持分	—	0
純資産合計	15,314	16,863
負債純資産合計	68,980	93,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	236,825	242,121
売上原価	220,579	224,370
売上総利益	16,246	17,750
販売費及び一般管理費	16,122	15,819
営業利益	123	1,931
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	117	118
負ののれん償却額	38	—
その他	158	180
営業外収益合計	318	302
営業外費用		
支払利息	254	233
その他	82	36
営業外費用合計	336	270
経常利益	105	1,963
特別利益		
受取和解金	60	—
投資有価証券売却益	—	40
特別利益合計	60	40
特別損失		
事務所移転費用	39	—
投資有価証券評価損	5	—
固定資産売却損	—	17
固定資産除却損	—	9
その他	3	—
特別損失合計	47	27
税金等調整前四半期純利益	118	1,976
法人税、住民税及び事業税	107	167
法人税等調整額	140	91
法人税等合計	248	259
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△130	1,717
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127	1,717

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△130	1,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	164
繰延ヘッジ損益	9	△6
その他の包括利益合計	△78	158
四半期包括利益	△209	1,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205	1,875
少数株主に係る四半期包括利益	△3	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	144,342	85,117	2,708	1,337	887	234,394	2,431	236,825	—	236,825
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,443	2,041	1,627	2,030	773	10,917	890	11,807	△11,807	—
計	148,786	87,159	4,336	3,368	1,661	245,311	3,321	248,633	△11,807	236,825
セグメント利益 又は損失(△)	△32	195	△181	△92	△28	△139	△1	△141	264	123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額264百万円には、セグメント間取引消去933百万円、のれんの償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△660百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	144,935	88,907	3,515	1,490	857	239,706	2,414	242,121	—	242,121
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,931	2,058	1,385	2,270	766	11,412	1,159	12,571	△12,571	—
計	149,866	90,965	4,901	3,760	1,624	251,119	3,574	254,693	△12,571	242,121
セグメント利益 又は損失(△)	1,063	606	193	△62	△22	1,778	66	1,845	85	1,931

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額85百万円には、セグメント間取引消去882百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。